



「そういうことに
する」…

…私ずっと
そうして
きたの

うつかり触れて
聞いちやいけない声
聞いたやつた時…

何も聞いてない
何も知らない

相手も私に
知られたことに
気付かない
そうやって
やり過ごすの

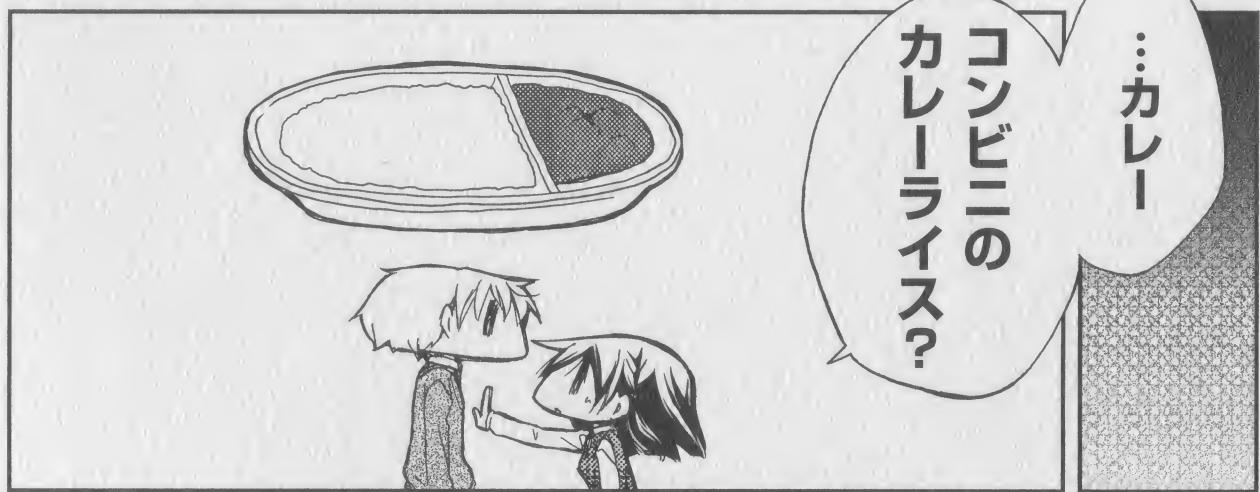
私達に
それが可能…
かな…?

聞かれたくない声を
聞かれたかもって
思いながら
知らんぷりできる…?

そんなに触っちゃう
機会ないとと思うけど
学級委員の仕事も
あるし…

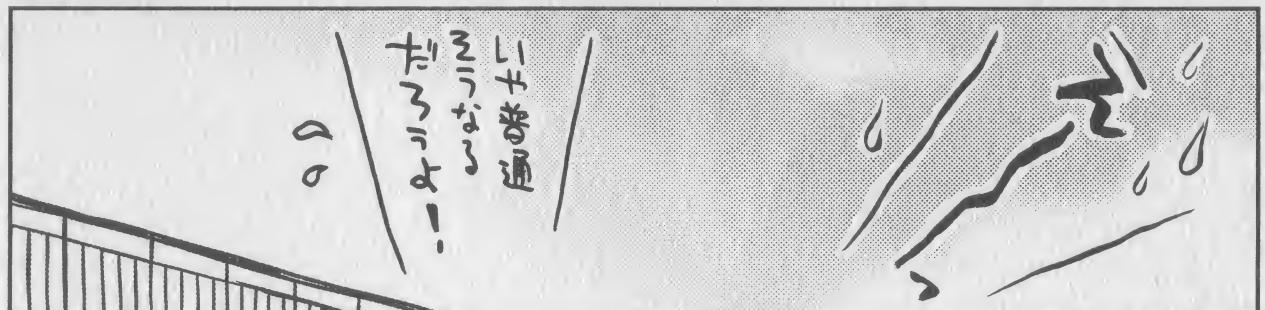




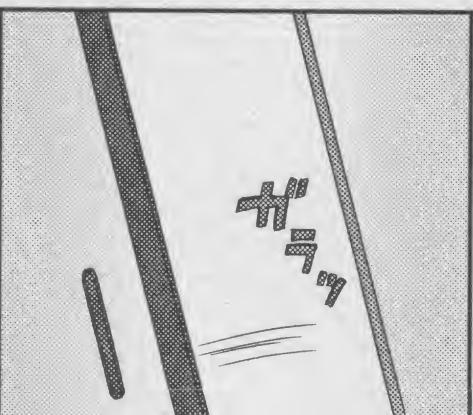
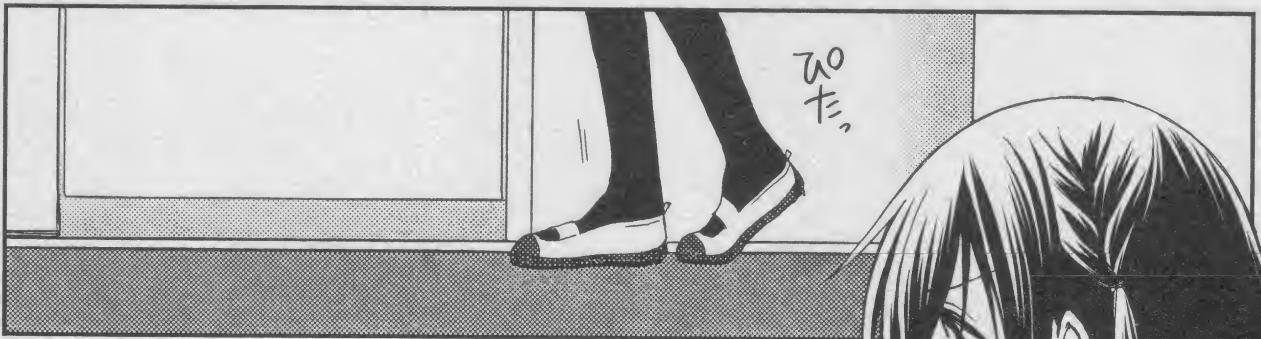


全部合って下





END

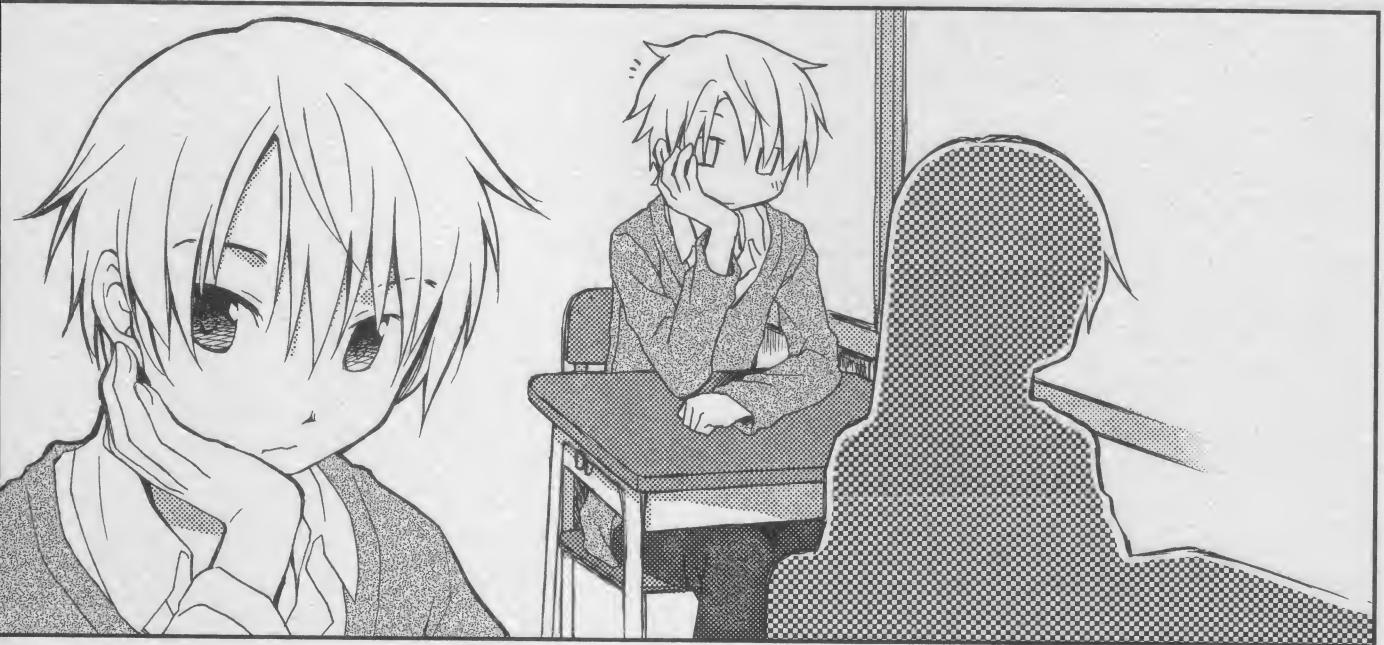


マドの向こう側

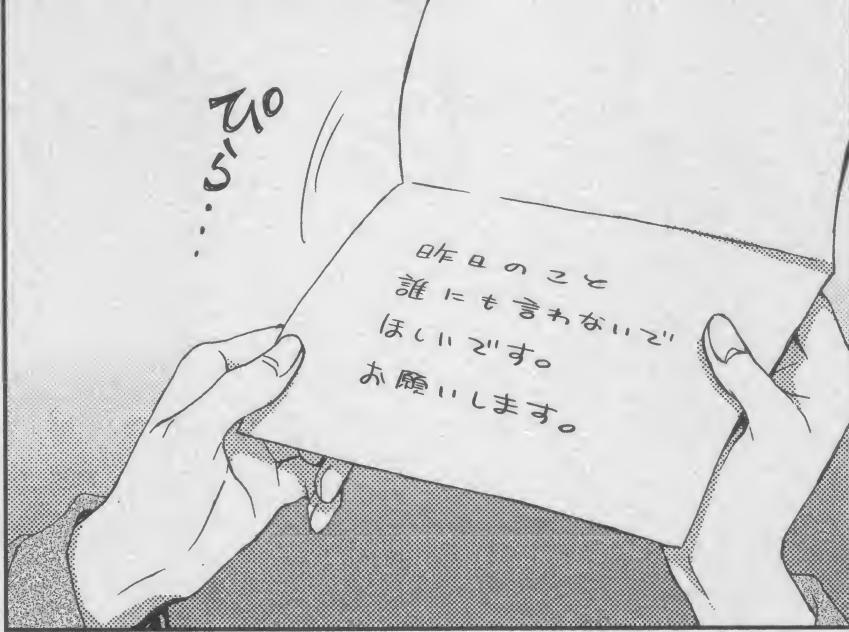
蒼樹うめ



あらすじ
触れた相手の考えが
読めるこことを石崎窓に
つい話してしまった京は、
その反応も見ないまま
逃げてしまつて…。

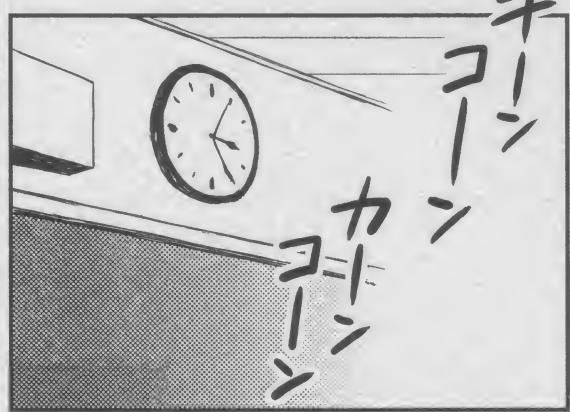












カキッ…



ごつ

ごめんなさい!!
許して下さい!!

…怒つてない。

手紙が面倒
だつたから
直接話そうと
思つただけだ

